

京都市立工業高校が発展するための具体的展望と将来のあり方を検討

第6回「京都市立工業高校将来構想委員会」の開催について

「ものづくり都市・京都」、さらには「技術立国・日本」を支える人材を数多く輩出してきた京都市立洛陽工業高校及び伏見工業高校が生徒や保護者、産業界等のニーズに応え、より魅力ある学校として発展し続けることを目指し、平成22年7月に提出された「京都市立工業高校のあり方に関する検討プロジェクト」の「まとめ」で示された方向性をより具体化する方策や学校の規模、施設整備等について、幅広い観点での審議を進める第6回『京都市立工業高校将来構想委員会』を下記のとおり開催します。

記

- 1 日時 平成24年6月14日（木）午後2時から（2時間程度）
- 2 場所 京都市立洛陽工業高等学校 本館1階会議室
（京都市南区唐橋大宮尻町22）
- 3 内容 ○ 適正な学校規模に関する協議
○ 施設整備のあり方に関する協議

【開催経過の概要】

- 第1回（会議）：平成23年8月25日実施
教育長諮問、市立工業高校の現状等に関する協議、施設見学（伏見工業高校）
- 第2回（会議）：平成23年11月10日実施
工業高校において育てるべき力に関する協議、施設見学（洛陽工業高校）
- 第3回（視察）：平成23年12月22日実施
神戸市立科学技術高校・神戸工科高校の視察
- 第4回（会議）：平成24年2月23日実施
工業高校において育てるべき力に関する協議、施設設備の方向性に関する協議
- 第5回（会議）：平成24年4月24日実施
施設設備の方向性に関する協議、適正な学校規模に関する協議

※開催経過の詳細については以下をご参照ください。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000086059.html>

4 傍聴

傍聴席を10席程度設置（報道関係者席は別途設置）。傍聴希望者は、会議の開始30分前から5分前までの間に、会場受付へ来場。多数の場合は抽選を行います。

<参考>

1 諮問内容

- 「京都市立工業高校のあり方に関する検討プロジェクト」における「まとめ」で示された方向性をより具体化するための方策
- 上記の方策や生徒・保護者・産業界等のニーズを見据えた今後の学校規模と施設整備のあり方

2 構成メンバー ◎ 座長

(敬省略 五十音順に記載)

氏 名	役 職 等
池垣 伊三郎	京都市立伏見工業高等学校同窓会 会計
尾河 清二	洛陽京工会 副会頭
奥 美里	京都市文化市民局 文化芸術都市推進室長
高倉 章雄	京都工芸繊維大学名誉教授
高橋 智隆	ロボットクリエイター (株) ロボ・ガレージ代表取締役社長
竹川 貴博	市民公募委員
中山 誠	市民公募委員
名高 新悟	京都機械金属中小企業青年連絡会 前代表幹事
林 倫子	立命館大学 理工学部 助教
福本 早苗	武庫川女子大学 生活環境学部 教授
◎ 松重 和美	京都大学名誉教授 龍谷大学特別任用教授
向井仲 和美	京都経営者協会 専務理事
村上 幸一	京都市立中学校長会 会計

<専門委員>

(敬省略 五十音順に記載)

氏 名	役 職 等
荒瀬 克己	京都市教育委員会事務局 教育企画監
恩 田 徹	京都市立洛陽工業高等学校 校長
道越 隆夫	京都市立伏見工業高等学校 校長

3 今後の予定

本年中を目途に審議会としての「答申」を、パブリックコメントの手続きを経て、教育長に提出。